

石見海域漁場環境保全調査

(漁場環境保全対策推進調査事業)

井岡 久・石原成嗣・開内 洋

1 研究目的

漁場環境の悪化が予想される水域について、その現状を把握し、資料の蓄積を図る。

2 研究方法

(1) 調査地点及び水層

益田地先 15 点、江津地先 15 点の水深 1m、10m および底層。

(2) 調査項目

水温、透明度、濁度、浮遊物質 (SS)、pH、溶存酸素 (DO)、COD、栄養塩類

(3) 調査日時

益田地先：平成 11 年 9 月 6 日 江津地先：平成 11 年 9 月 7 日

3 研究結果

(1) 益田地先

水層 (m)	区分	水温 (°C)	塩素量 (%)	浮遊物質 (ppm)	COD (ppm)	NH ₄ -N (μg-at/λ)	PO ₄ -P (μg-at/λ)	NO ₂ -N+NO ₃ -N (μg-at/λ)
1	最小値	26.0	17.140	4.6	0.68	0.00	0.01	0.00
	最大値	26.3	18.257	8.1	2.06	6.35	0.08	4.38
	平均値	26.2	17.813	6.3	1.24	0.65	0.02	0.52
10	最小値	25.5	17.465	5.0	0.17	0.00	0.01	0.00
	最大値	26.3	18.582	10.8	1.56	2.74	0.91	0.40
	平均値	26.0	18.086	6.8	1.01	0.67	0.10	0.11
底	最小値	25.6	18.176	2.1	0.54	0.00	0.01	0.00
	最大値	26.0	18.379	8.8	1.45	3.30	0.04	0.86
	平均値	25.8	18.252	6.1	1.09	0.44	0.02	0.15

(2) 江津地先

水層 (m)	区分	水温 (°C)	塩素量 (%)	浮遊物質 (ppm)	COD (ppm)	NH ₄ -N (μg-at/λ)	PO ₄ -P (μg-at/λ)	NO ₂ -N+NO ₃ -N (μg-at/λ)
1	最小値	25.1	9.423	5.8	0.59	0.00	0.01	0.00
	最大値	26.2	17.993	29.8	1.24	2.22	0.25	19.63
	平均値	25.8	15.406	12.3	0.92	0.74	0.07	4.66
10	最小値	25.9	16.592	4.5	0.48	0.00	0.01	0.00
	最大値	26.2	18.237	10.5	1.26	1.02	0.04	2.41
	平均値	26.1	17.814	7.0	0.97	0.37	0.02	0.24
底	最小値	23.5	17.830	4.1	0.57	0.00	0.01	0.00
	最大値	26.2	18.582	10.8	1.44	2.87	0.05	0.29
	平均値	25.6	18.157	6.7	0.94	0.87	0.02	0.10

雨により、河川水が調査海域に大量に流入しているため、一部の試水で栄養塩濃度が高く、塩素量の低いものが見られたが、概ね例年と同じ水準を示す結果が得られた。

4 研究成果

長期的な調査により、近年は、調査地点の水質に重大な変化は生じていないことを確認できた。